

令和4年度事業計画

(令和4年4月～令和5年3月)

基本方針

一昨年以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という事態に見舞われ、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな影響を受け、シルバー人材センターにおいても会員数や契約額が減少するなどの大きな影響が出ました。オミクロン株の影響により全国の新規感染者は拡大していますが、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所となれるよう、地域の特色や実情を踏まえたうえで、積極的に取組の強化を図っていきます。

こうした諸情勢を踏まえた上で、岩美町シルバー人材センターは、地域高齢者の就業機会の拡大、会員の増強、併せて「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の推進による発注者ニーズとのマッチングを行い、派遣事業の発掘を進めます。また、第4次中期基本計画の2年目の目標達成にむけ、新しい生活様式に対応した就業機会の開拓はもとより、「自主・自立、共働・共助」のもとに、安全第一で、地域のご理解やご協力を得ながら行政・関係諸団体と連携し、新型コロナウイルス感染症の動向にも留意し、役職員・会員一丸となって信頼されるセンターづくりに努力します。

事業実施計画

(1) 就業開拓提供事業

より多くの就業を提供するためには、就業開拓と会員拡大のマッチングが重要です。就業開拓については「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の取組強化により派遣事業をアピールし、従来から主力の請負又は委任を含め既存発注先からのリピートを図ります。併せて発注先及び会員からの紹介のお願いをしていきます。また、安全・適正就業開拓推進員、役職員が情報を共有して就業の拡大を図り目標達成を目指します。

会員の創意と工夫により企画する独自事業は、会員が楽しさ、やりがいを感じながら参画することでセンターの活性化につながり、地域貢献はもちろんイメージアップ効果も期待できることから、町の特産品である「マコモ」を利用したしめ飾り及びミニ門松作製・販売事業を継続します。後継会員の育成など課題もありますが、事業及び事業配分金の拡大に向け一層の努力を行います。道の駅等での販売強化及び効率化を図り、事業の継続に注力します。観光協会や自治会等との連携を密にし、観光事業を中心とした就業の掘り起し、対応会員の確保等、地域特性を生かした事業も展開していきます。また、新規事業についても検討を進めていきます。

《令和4年度事業目標》

(第4次中期基本計画目標・会員数、就業延人日、契約額)

- ・ 会員数 目標 159名 (年度末会員数)
- ・ 就業延人日 目標 6,120人日 (派遣、独自事業含む)
- ・ 契約額 目標 36,210千円 (派遣、独自事業含む)

<令和4年度独自事業目標>

・しめ飾り・ミニ門松作成販売

作成個数及び販売実績ともに令和3年度実績を上回れるよう努力します。

しめ飾り	マコモ玄関飾り	213個	他	634個	売上	859,900円以上
ミニ門松				88個	売上	133,800円以上

(2) 普及啓発事業

シルバー事業には従来型の仕事だけでなく、多種多様な就業があることを広く周知し、イメージの転換・向上を図るとともに、高齢者の加入を促進するため、効果的な普及啓発活動を推進します。

シルバー相談会を引き続き実施し、入会促進及び仕事の依頼受付、会員の就業相談等を行っていきます。また、コロナ禍という想定外の事態により減少傾向にある会員数を1日も早く回復させ、多様化する地域ニーズに対応すべく、色々な分野の就業に従事できる会員の獲得にむけて、役職員、班長、会員が一体となって、1人1会員入会勧誘を目標として会員拡大へ注力していきます。

シルバー人材センター事業への理解や信頼を得るため「適正就業ガイドライン」に沿った事業運営を図ると共に、新規発注者等へのガイドライン配布、シルバーだよりの発刊全戸配布、ホームページでの就業の紹介、安全・適正就業開拓推進員による戸別勧誘を継続して行います。併せて、技能講習を希望する町内の高齢者への紹介等の各種広報を行い、入会を促進します。本年も10月（第3土曜日シルバーの日）を普及啓発月間として、ボランティア活動、ポスター掲示などシルバー人材センターのアピールを行います。

《令和4年度普及啓発活動計画》

- ・シルバー「お仕事相談会」を毎月開催（月1回、年間12回開催予定）
- ・「シルバー人材センターのご案内」（発注者用）の配布
- ・（公社）鳥取県シルバー人材センター連合会主催の講習会の受講募集
- ・シルバーだよりの配布 4,000部 町内全戸
- ・ホームページを活用したアピール
- ・町広報への掲載、メディア等へ取材依頼
- ・普及啓発月間〔10月1日～10月31日〕
（普及ポスター掲示、ボランティア活動1回）
- ・安全・適正就業開拓推進員による就業開拓、会員勧誘 月3回～4回
- ・役職員・会員による1人1会員入会勧誘活動

(3) 安全・適正就業推進事業

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業の根幹をなすものであり、重篤事故、傷害事故、損害賠償事故の撲滅を図ることは、とても肝要なことであります。

岩美町シルバー人材センターに於いては幸い大きな事故や問題は起こっていませんが、会員が今一度「安全就業基準」を理解し、実践していくことが大切です。会員同志が作業現場の安全、服装、道具等を再確認し仕事にかかることを徹底します。会員の健康は安全就業に大きく影響することから、日頃の健康管理はもちろんですが、新型コロナウ

ウイルス感染防止対策を徹底し、就業途上の交通安全を日常的に注意喚起します。会員の意識の高揚と事故防止のために安全・適正就業開拓推進員を配置し、作業現場の抜き打ち安全パトロール、個別指導を行います。

《令和4年度安全・適正就業推進計画》

- ・安全・適正就業パトロール、会員勧誘及び普及啓発 年間24回以上を予定
- ・役職員による現場指導
- ・安全就業の手引き配布
- ・新規入会者の健康チェック
- ・健康診断の受診促進

(4) 社会活動の推進

ボランティア活動によるシルバー事業の本旨理解と、会員の社会貢献への意識拡大を図ります。シルバー人材センターが地域にとって必要な団体だと認知していただき、就業の場の提供等を検討していただくきっかけになればと考えます。例年同様に互助会と協力して公共施設の除草・雑木の手入れ、海岸清掃等行い地域貢献を進めます。また、本年も公共施設への門松寄贈を行います。

《令和4年度活動計画》

- ・ボランティア活動<剪定、除草、清掃> (公共施設等年2回)
- ・門松寄贈 (主要公共施設数箇所)

(5) 労働者派遣事業

「適正就業ガイドライン」、「高齢者・現役世代雇用サポート事業」に沿った労働者派遣事業を展開し、請負・委任にマッチしない就業等に対し、労働関係法令への適切な対応をとった上で、シルバー派遣事業を紹介し事業の拡大に繋がります。

<令和4年度派遣事業目標>

(第4次中期基本計画目標・派遣会員就業延人日、派遣契約額)

- ・派遣会員就業延人日 560人日
- ・派遣契約額 2,550千円

(6) 職業紹介事業

求職を希望する60歳以上の高齢者に対し、適正就業に沿った雇用を創出するため「有料職業紹介事業」を実施します。

(7) 消費税における適格請求書等保存方式(インボイス)の対応

令和5年10月からいわゆるインボイス制度が導入される予定ですが、施行されてしまうとセンターの経営に極めて大きな影響を及ぼすため、シルバー業界全体として特例措置を求める要望活動を行っています。しかし、予定どおり施行されることとなった場合に備え、リスクマネジメントの観点からも入念なシミュレーションによる現実的な対応策を検討し、その時に大きな混乱が生じることのないように準備をすすめます。